

天風録

川岸を歩くのが  
楽しい時季にな  
ってきた。朝夕  
散歩したり、昼  
に弁当を広げた  
りする人をよく見かけ  
る。「水の都」と言われ  
る広島市に限った話では  
あるまい。それぞれの街  
に人々が憩い安らぐ水辺  
があるのではないか▲太  
田川に特徴があるとすれ  
ば、階段状の船着き場、雁  
木が三百力所以上も残っ  
ていることだろう。水運  
を支えてきて、今も雁木  
タクシーに利用されてい  
る。暮らして川とのつな  
がりは深い▲京橋川にあ  
る約三十力所の雁木群が  
本年度の「選奨土木遺産」  
に決まった。明治から大  
正にかけて石組みで造ら  
れ、街を焼け野原にした  
原爆にも耐えた。文化的  
価値のある近代の土木構  
造物として土木学会がお  
墨付きを与えた形だ▲今  
風の楽しみ方もある。雁

木群から少し下流に行く  
と、力キをはじめ魚介類  
や鉄板焼きなどの店が四  
つ並んでいる。水辺のオ  
ーブンカフェだ。開業三  
年目に入り、屋外で楽し  
む人々の姿は街にすっか  
りなじんできた▲国の規  
制緩和で実現した。全国  
の自治体関係者らが年二  
十件ほど視察に来るとい  
う。本年度は、都市みら  
い推進機構主催の土地活  
用モデル大賞の一つに選  
ばれた。水辺を生かした  
取り組みが目にとまった  
ようだ▲今月十一日、広  
島駅南口地区と京橋地区  
がそれぞれ河岸緑地で祭  
りを同時開催する。遊覧  
船で結ぶなど連携は初め  
て。秋空の下でにぎわい  
が広がれば、楽しみも増  
す。身近なだけに、魅力  
を見過こしがちな水辺の  
存在が誇らしい。